

雨畑ダム(山梨)堆砂率トップ

93%、濁水対策困難に

全国 中規模以上

駿河湾サクラエビの
不漁を受け、静岡、山
梨両県が濁りの実態調
査を進める雨畑ダム
(山梨県早川町)の堆
砂率が2016年度、
93・36%に上り、総貯
水量500万立方以上
の全国のダム約50
0カ所で最も堆砂が深
刻化していることが6

日までに、国土交通省
公表のデータを分析し
た静岡新聞社の調べで
明らかになった。
発電用の貯水池の役
割を果たすダム湖の極
端な容量減少で、導水
管の取水口も土砂に覆
われつつある。駿河湾
に流れ込む濁り水の対
策が極めて困難になっ
ている状況が改めて浮
き彫りになった。



特別編 16/17 関連記事 32

順位	ダム名	堆砂率(%)	堆砂量(万m ³)	竣工年
1	雨畑(山梨)	93.36	1274	1967
2	岩知志(北海道)	88.35	445	58
3	平岡(長野)	85.23	3616	52
4	泰阜(長野)	75.34	810	36
5	大井(岐阜)	70.95	2086	24
6	岩屋戸(宮崎)	67.20	558	42
7	清水郷(北海道)	66.35	370	39
8	上郷(山形)	65.90	504	62
9	小原(富山)	64.88	761	42
10	神一(富山)	63.04	715	54

(総貯水量500万m³以上、2016年度末。国土省のデータより)



総貯水容量500万立方以上のダムの中
で堆砂率が全国1位であることが判明
した雨畑ダムは8月上旬、山梨県早川町
(本社ヘリ「ジェニコ1号」から)

雨畑ダムの堆砂は、
ダムを管理する日本軽
金属が除去を始めた1
977年度当時は22番
目だったが対策が追い
付かず、約40年間で急
激に進んだ。中規模以
上のダムで同年度に堆
砂率が10位以内だった
ダムのうち、9割を超
えたのは雨畑ダムだけ
だった。
2位は北海道電力保
有の岩知志ダムで88・
35%、3位は中部電力
の平岡ダムで85・23%
と、上位には電力会社
が管理するダムが目
立った。雨畑ダムは67
年完成で、堆砂率10位
以内で最も新しいダ
ム。
(「サクラエビ異変」取材班)